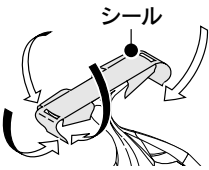


使用方法

※このリールに使用したマグネシウム製の部品はシマノ独自の特殊表面処理を施すことで、海水域での使用も可能となっています。
末永くご使用いただくために「特にご注意ください」「メンテナンスの方法」「リールのお取り扱いの注意」、保管のご注意などの項目をよくご覧下さい。

●リール脚保護シートの使用方法

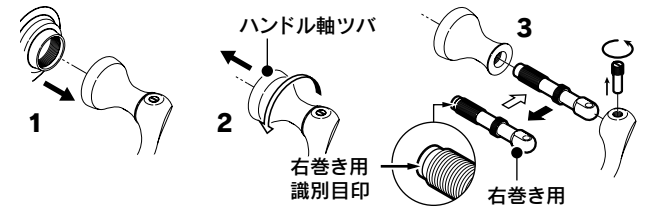
このリールを装着する竿のリールシートが金属製の場合、付属のリール脚保護シートを装着していただくことをおすすめします。
リールシートとの干渉による特殊表面処理層の損傷を和らげ、耐蝕性を維持する効果があります。



●ハンドルの左右付け替え方法

以下の要領でハンドル軸の交換を行ってください。
工場出荷時のハンドル組は左巻き専用になっています。

1. ハンドルを本体から外します。
2. ハンドル軸ツバを図の方向に回して外します。
3. ハンドル根元のボルトをゆるめてはずし、付属の右巻き用ハンドル軸と入れ替えます。
4. 逆の手順で組み立てます。



※ご注意

ハンドルを左右付け替える際は、それぞれ右巻き専用・左巻き専用のハンドル軸に交換する必要があります。
装着されているハンドルをそのまま反対側にねじ込もうとしますと、ドライブギア・ハンドル軸を傷つける恐れがありますので絶対にお止めください。

夢屋・WEB CASTING

この度はスーパーエアロシリーズをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
(株)シマノでは釣りリファンや遠投マニアの皆様を様々な側面から支援しています。

●SHIMANO JAPAN CUP 投

釣り技術やマナー向上を目指し、また、キャスター相互の親睦を深める目的で、キス釣りトーナメントの最高峰SHIMANO JAPAN CUP投を開催しています。

●夢屋

チューニングパーツブランド夢屋から発売しておりますスーパーエアロシリーズでは、お手持ちのリールを、軽量化・飛距離の向上・トラブルの減少・操作感の向上、といった各種ファクターを高めるために、妥協のない性能を追い求めています。

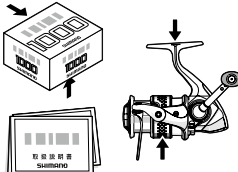
●WEB CASTING

シマノホームページに、「遠投」に特化したコンテンツ WEB CASTING を設けています。遠投の基本・トップキャスターのキャスティング分析・遠投競技のすべて等、基礎知識からトップテクニックまでを順次解説していきます。
<http://fishing.shimano.co.jp/webcasting/toptitle.html>

是非とも御参考にしていただきたく思います。

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

- 弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては「仕様」に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は「仕様」をご覧ください、製品名と製品コードをお知らせください。
(例/製品名：ステラ1000S 製品コード：SD83B012)
- リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。
- 修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが働かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。
内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。
(例/製品名：ステラ 1000S 商品コード：02425 製品コード：SD83B012 部品番号：2 部品名：スプール)
- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。
- 商品コード/製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面底部もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



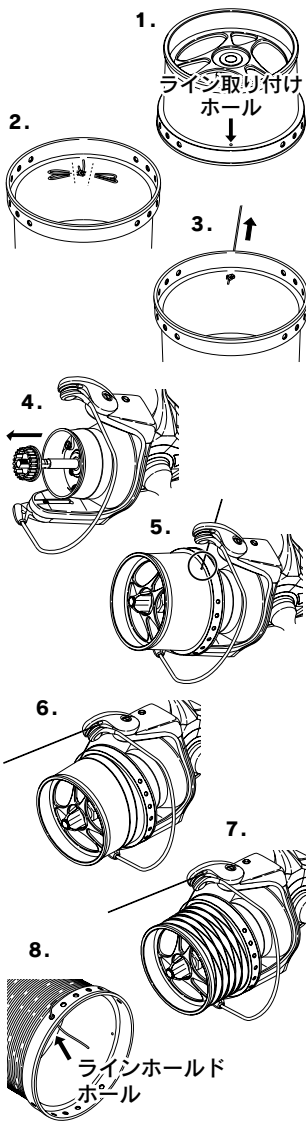
SUPER AERO
KISU SPECIAL COMPE EDITION

●スプールへのライン取り付け

1. スプール糸巻き部の下端に開けられたライン取り付けホールにラインを通します。
2. ライン先端を4つ折りにし、結びこぶを作ります。他の太めの糸を添えて結びこぶを作ってもOKです。余った糸はカットしておきます。
3. ラインを軽く引っ張ってみて結びこぶが抜けないのを確認します。
4. スプールシャフトが一番前にくる状態にハンドルで微調整します。
5. スプールを取り付けます。
このときラインが出ている部分を上にしておきます。
6. ラインローラーにラインを掛け、ラインを巻いていきます。極細糸の場合はテンションに注意してください。強く締めすぎると切れるおそれがあります。
7. 最初に1～2往復巻いてみて、ラインがスプールの前端、後端に片寄らないようにワッシャーを調整します。調整方法は次記「糸巻き形状の調整」を参照してください。
8. 巻き終わったらラインのエンド部分は、一番近いラインホールドホールに通しておきます。

※PEラインは染料によって染色されています。新品の糸をタオル等ではさんで巻きますと、この染料が落ち、タオルではさんでいる部分にたまって抵抗になり、糸切れを起こすことがあります。これを防ぐためにはおよそ50mごとにタオルのはさむ位置を変えてください。

※ライン巻き上がりはスプールエッジより若干少な目になります。これはPEラインのトラブルを極力抑えるためのものですがスプールエッジに角Rが付いているので、ライン放出の抵抗にはなりません。



リールのお取り扱いの注意

リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

《ご使用上の注意》

- リールを使用する竿に取付けてみて不具合がないか、まず確認してください。
- 根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。
- リールは丁寧に扱ってください。移動時、特に磯渡しなどの時の放り投げやバッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
- 砂浜、磯の上で竿を立てるとき、石突きを強く打ち込むとショックでリールの脚部が折れることがありますので、必ずゆっくりと竿を立ててください。
- 砂や水などの侵入を大幅に減少させるシール部品を随所に採用していますが、防水構造ではありません。
- 水中でのご使用、およびお手入れには対応していませんので、水没させないように注意して下さい。(万が一リールが水没し内部に浸水した場合、「メンテナンスの方法」の項を参照) また、むやみに分解されますと、シール部品が破損したり、その性能を損う可能性がありますので充分ご注意ください。
- ローターの内部に位置するローラーベアリング部にはグリスを絶対につけないで下さい。グリスがローラーの動作に悪影響をおよぼし、ストッパーが効かなくなることがあります。
- 高温、高湿の状態で長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存をされる場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存されるようにしてください。
- ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。
- このリールのハンドルは折りたたんだ状態での収納は出来ません。

メンテナンスの方法 (オイルインジェクションで簡単・安心)

S A-RB (Shielded Anti-Rust Bearing) の採用で、通常使用後は**1.2.**の水洗いと乾燥だけで十分です。およそ5回の使用に1回、また次のご使用までに1ヶ月以上の期間があく場合は、**3.**の注油を併用するとより効果的です。オイルインジェクションの採用で、リール内部へのオイル補給も容易です。リールを水没させてしまった場合は、**1.**から**3.**までのメンテナンスで応急処置はできますが、できるだけ早くお買い上げの販売店にお預けいただき、当社のアフターサービスを受けることをおすすめします。

1. 水洗い…シャワー等の真水で水洗いしてください。リールに付着した塩分、汚れを洗い流します。〈図A〉
※温水はグリスを洗い流す可能性があるのでお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。
- ※竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。
2. 乾燥…しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干ししてください。〈図B〉
※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。
※水を切り、乾燥させる際にオイルインジェクションのキャップを外しておくことで効果的です。
※外したキャップは無くさないよう注意してください。〈図C〉
3. グリス、オイル噴霧…オイル噴霧箇所は〈図D〉を参照していただき、間違えないように噴霧して下さい。グリス、オイルはシマノ純正品(別売・下記)をお使い下さい。

※単品でご購入される場合

シマノ純正リールオイルスプレー (SP-013A)
シマノ純正リールグリススプレー (SP-023A)

※リールオイルスプレーとリールグリススプレーの2本セット

シマノ純正リールメンテスプレー (SP-003H)

※いずれも販売店にてご注文ください。
※注油の際は、オイル、グリスが飛び散り周囲を汚すことがあります。換気の良い場所で注意して行ってください。
※リールを分解して内部に注油する場合以外は、グリスは必要ございません。

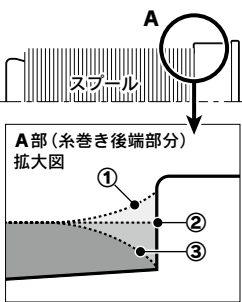
●お願い

グリス、オイル類は**シマノ純正品**(別売)をお使いください。
そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご注意ください。

●糸巻き形状の調整方法

糸を巻かれた時に糸巻き部分、特に後端部分に注目してください。その際、下記から当てはまる状態をご確認頂き、①・③の場合は以下の方法で②の状態に調整されることをおすすめします。

- ①：糸巻き後端部分が上がっている状態。
- ②：糸巻き後端部分がまっすぐになっている状態。
- ③：糸巻き後端部分が下がっている状態。

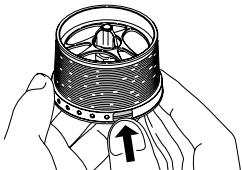


《調整方法》

- ①：糸巻き形状として、悪くはありません。
②の良い状態にするにはスプール調整ワッシャーを抜いて調整して下さい。
- ②：糸巻き形状としては抜群です。
- ③：糸巻き形状として、最悪の状態です。
絶対にこのままで使用しないで下さい。ライントラブルが発生します。
②の良い状態にするには、スプール調整ワッシャーを入れて調整してください。

●ライン号数シールの使用方法

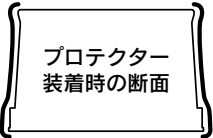
付属のライン号数シールをスプールに貼ってお使い下さい。(※貼る前にスプールの汚れ、水分、油分を拭き取って下さい。)



●スプールプロテクターの使用方法

スプールリングを保護し運搬中にテーパーラインがほくれるのを防ぐスプールプロテクターが2つ付属しています。図のようにスプールプロテクターをスプールに強く巻きつけて止めてください。

抜け落ちないように確実に巻きつけてください。



●ハンドルノブの取り外し方

1. ネジ2本を緩めて、ハンドルノブ銘板を外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



*** 特にご注意ください! ***

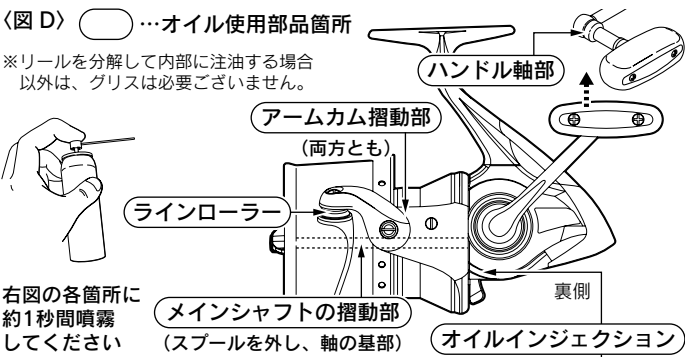
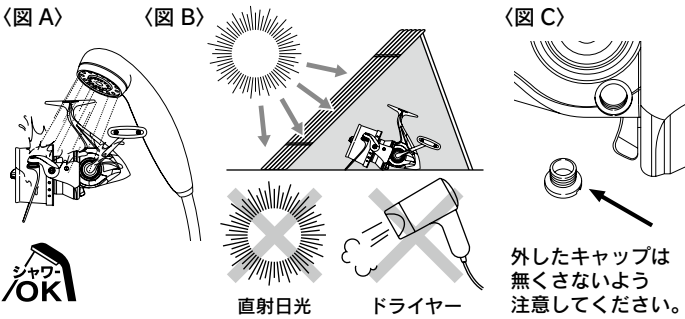
《マグネシウム素材に関する注意》

マグネシウム合金部品を用いた本リールは充分な表面処理を施しておりますが、以下のことにご注意下さい。

- ご使用後、濡れたまま湿度の高い状態の密閉された空間(自動車のトランクなど)に放置されますと本体部分が腐食する恐れがあります。よく乾かしてから風通しの良い場所に保管してください。
- 本体の塗装面に傷をつけないようご注意下さい。傷の部分から腐食する恐れがあります。
- お願い
リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。できましたら1年に一度は点検のためお預け頂くことをお勧めいたします。お買い上げの販売店にてお受けしております。

《その他の注意》

- 万が一リールを砂の上に落とし、砂が入った場合にはハンドルを回さずに真水で洗い流してください。そのまま使用すると破損の恐れがあります。



- オイルインジェクションへの噴霧は…
マイナスドライバーでキャップを外しオイルスプレーを注入して下さい。(右図)
1回の注入は約1秒までの噴霧が適当です。
※注入しすぎるとあふれたオイルで衣服等を汚すおそれがあります。
※オイルスプレーの注入が終わりましたらオイルインジェクションのキャップは必ず装着して下さい。
※リール本体にオイル、グリスが付着したままですと、キャスティング時にすべるおそれがあります。必ず拭き取ってください。

